

ピアサポーター オープンキャンパス特別企画(第二弾)

昨年度のオープンキャンパスで大好評だったピアサポーターによるインタビュー企画、なんと今年度も開催しました！ 今回のメインテーマは「東工大生のライフスタイル」。「理系の大学生って研究や実験に追われて大変じゃないの?」、「休みの日ってちゃんとあるの?」など、オープンキャンパスで東工大生に寄せられる様々な疑問に答えるため、2人のピアサポーターがインタビューに協力してくれました。

インタビュー

井澤和也くん…情報理工学院情報工学系の3年生。我がピアサポーターの代表であるが、写真研究部の部長でもある。今年の夏は部活最後の合宿で北陸に行くのがとっても楽しみ(しかも人生初の北陸らしい)。

秋澤優希くん…工学院システム制御系2年生。キックボクシングサークルに所属する傍ら、学生団体「理工系学生能力発見開発プロジェクト」の代表も務める。今年の夏は様々な分野の研究室訪問に加えてスウェーデンへの短期留学など予定がたくさん。

インタビューア

土山絢子…昨年の夏、前回のインタビューの記事の作成に追われながらも無事に大学院入試を乗り越えた理学院地球惑星科学系の修士1年生。今年の夏はアメリカでの長期研究留学を予定しているので、本当はインタビューなどしていない(らしい)。

トピックその1「東工大の時間割」

土山…もうすぐ夏休みだけど、その前に第2クォーター*の期末試験があるよね(取材日は7月19日)。2人はそれぞれどんな授業をとっているの?

秋澤…僕は今2年生で専門課程に所属した

ばかりなので、専門科目に加えて文系科目や第二外国語の科目も履修しています。

土山…東工大ではまず、1年生の時に教養科目を学び、2年生以降にそれぞれの分野の専門科目を学んでいくよね。3年生の井澤くんはどんな時間割なの?

井澤…僕は結構、時間割に余裕があって、3年生の今の時期は午後からの授業がほとんどです。基本的には数学とプログラミングの授業がメインで、講義を聞く授業と実際に手を動かしてプログラミングをする演習の授業があります。

土山…3年生になると専門性に特化した時間割なんだね。午前中に授業がないと結構のんびりできそうだけど…?

井澤…そうですね(笑)。ただ、時間割に余裕があっても毎回の授業で課題が出されるので、午前中はだいたいその課題をこなしています。

土山…ちなみに4年生になると研究室に所属するので、授業に出席して話を聞くよりも研究室で作業をしたり、自分で論文を読んだりする時間が増えていきます。自分で学習する力は、大学受験だけでなく研究室でも必要な能力かも?



インタビューの様子

秋澤…実際、自分で教科書を探して読み込んでみると、授業内容の根本となる理論や背景知識を理解することができるので、自分なりの勉強スタイルを探す上でも結構面白いですよ。

土山…確かに、学部時代から自習の習慣を付けておくと楽しいと思う。東工大の図書館には理系の専門書がたくさんあるし私も結構お世話になったなあ。

トピックその2「週末のご予定は？」

土山…なんだか2人とも平日は忙しそうだが、週末はどんなことしているの？

井澤…課題・サークル(写真部)・旅行のいづれかですね。最近は課題が多くてあまり旅行には行ってないですけど…。

土山…井澤くんは写真部の部長だったね。東工大のサークルや部活動では3年生頃が一番忙しくなるかな。秋澤くんは？

秋澤…僕は常に「スキルアップ」をしているので、週末は映画やアニメなどの作品を鑑賞して自分の価値観について考えています。でも最近留学の事前課題やアルバイトに追われていますね。

土山…2人とも、平日休日問わず、「やるべきこと」と「やりたいこと」のバランスをうまくとりながら充実した生活を送っているみたいだね。

トピックその3「東工大で勉強することへのモチベーション」

土山…2人は普段の授業以外にも様々な場所で活躍しているイメージがあるんだけど、その活動のエネルギーというか、モチベーションみたいなものは一体どんなところから来ているの？

秋澤…僕は正直、まだ自分が本当にやりたいことを見つけれないんです。でも、今の時間を無駄にしたくないし、自分が一年間浪人していたこともあって、もっと効率的に生きたいと思っています。2年生のうちから研究室や学会の見学に行ったり、論文を読んだりしているのはそういう理由が背景にあるんです。

土山…その気持ち、とってもよくわかる。実は私も高校時代にある科学コンテストの全国選抜で敗れたことがあって、その時「もっと早いうちから勉強しておけばよかった！」って本当に後悔しました。そういう経験って、次の行動につながってくるよね。

井澤…僕は時間がたっぷりとれる大学時代

だからこそ、今やりたいことをやって思う存分に楽しみたいなあという思いがあります。例えば、今考えているのはWebサービスの立ち上げです。実は僕、大学入学時点ではプログラミングの経験が全くなくて、情報工学系の授業や周りの学生のレベルについていけないのことも不安でした。それでも、東工大の授業や課題に対して真剣に取り組むことで徐々に慣れていくことができたので、次は習得した言語を使って何かアウトプットしてみたいと思えるようになりました。

土山…(本人の口からは出なかったのですが)実は井澤くん、今年の春に開催された「活用」のベビーカー開発コンテストで東工大の学生とチームを組んで出場し、なんと最優秀賞を受賞しています!(詳細…<https://www.titech.ac.jp/news/2019/043919.html>) アウトプットを始めた井澤くんの今後の活躍に期待です。

つぎは

土山…さいごにこれから受験を乗り越えて大学生になる中高生に対してメッセージを

お願いします!

秋澤…僕は「早いうちに最適化しておくこと」ということを伝えたいです。例えば、勉強で疲れたときにはそのままだらだらと続けるよりも、気分転換してもう一度机に向かう方が効率がよくなる、とか。自分なりの「最適化」を見つけて実行することを繰り返せば、後々の後悔も最小限に抑えられるのかなと思いますね。

井澤…僕の今の大学生活のモットーは「今の目標にとらわれないでやりたいことをやる」です。僕は、就活や研究のことを考えすぎず、今は時間のある学生時代にしかできないことを全力でやりたいと思っています。大学生になるためには受験勉強ももちろん大切ですが、大学入学後にやってみたいことを今のうちから思い描いておくこと、大学生活をもっと充実させられると思います。

土山…今回は「自分なりの東工大生活の楽しみ方」を2人に語ってもらいました。ピアサポーターにはまだまだたくさん個性的な東工大生が活動しているので、ぜひ、オープンキャンパス限定のピアサポーターキャンプスライフ相談会にも足を運んでみてください。